

「高等学校等教育改革促進事業」に係る先導拠点の採択結果について

1 高等学校等教育改革促進事業について

- 文部科学省が令和8年2月に高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）を示し、各都道府県において高校教育改革を推進するための3つの類型の先導拠点を選定することとされた。

<類型1> 専門高校の機能強化・高度化

（アドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成等）

<類型2> 普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化

（文理の双方の素養を有する人材の育成等）

<類型3> 地理的アクセス・多様な学びの確保

2 本県の申請及び採択の結果について

- 本県から申請していた県立高校については、4校中1校が採択された。

類型	先導拠点名	事業計画名	結果
類型1	新庄神室産業高校	地域資源から価値を創出する実践的な人材育成拠点の形成	採 択 (15億円)
	米沢鶴城高校	地域産業のDX化を牽引する「人財」の創出	不採択
類型2	山形東高校	文理双方の資質・能力を兼ね備えた理系人材の育成	不採択
類型3	庄内総合高校	「やまがたTSUMUGI ネット」で垣根を超えた学びの実現	不採択

- 採択された新庄神室産業高校については、別添参考資料に示した取組概要のとおり推進していく。
- 不採択となった学校については、今後実施される予定の追加公募に向けて、事業計画の更なる改善を図り、採択されるよう努めていく。

3 今後の予定

- 追加公募のスケジュールについては、7月下旬頃公募開始、8月中旬頃申請締切り、9月中旬頃採択発表の見込み。
- 本事業の実施に伴う関連予算案を令和8年9月定例会に上程する予定。

- 類型1 先導拠点「県立新庄神室産業高校」の取組概要
 - ・採択額（上限額）：15億円
 - ・事業期間：令和8年度から令和10年度

【類型1】先導拠点 山形県立新庄神室産業高校



～地域資源から価値を創出する実践的な人材育成拠点の形成～

育成を目指す人材

- ・データ駆動型農業のスペシャリスト
精密なデータ分析に基づく収益性の高い農業の実践
- ・フィジカルAIのオペレーター
自動走行の農業機械、遠隔監視ロボットを駆使して少人数で農地を管理
- ・地域アグリビジネスの起業家
生産から加工・販売までをDXで統合し、地域経済を牽引する新しい農業を実践

地域連携の拠点「SHINJO-Kラボ」



※図はイメージ図である。

主な事業内容

- ・東北農林専門職大学・産業界とのコンソーシアムを形成し、高大連携授業や実務家教員から学ぶ実践的な教育プログラムを展開
- ・高大連携・地域連携の拠点となる「SHINJO-Kラボ」等を新設校舎全体のDX化し、生徒が学ぶ環境をアップデート
- ・スマート農業技術や建設DXを学ぶ農業・建設DX実践施設を新設

農業・建設DX実践施設



※図はイメージ図である。

協力校：上山明新館高校・左沢高校・村山産業高校・置賜農業高校・庄内農業高校